


<p>新規就農者の素顔</p>  <p>氏名：宮垣 良一 住所：神戸市北区上津台6-23-16 就農地：三田市大川瀬 年齢：39歳</p>	<p>農業経営の状況（現在）</p> <p>農地：27a（借地27a） 施設：ビニールハウス18a</p> <p>経営内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トマト10a</li> <li>・きゅうり10a</li> <li>・葉物野菜5a</li> </ul> <p>労働力：本人、雇用1～2名 出荷先：JA直売所、市場</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>オーガニックフェスタ 2014 で最優秀賞を受賞</p> </div>
<p>就農から現在まで</p> <p>平成21年4月 就農し、直ちに今のハウス（18a）を借り受ける</p> <p>平成26年3月 現在に至る</p>	<p>就農で良かった点、苦労した点</p> <p>○良かった点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本物の野菜の旬を味わえること。</li> <li>・自分のやりたいことに自由に取り組めること</li> </ul> <p>○苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・減農薬・減化学肥料栽培が軌道に乗るまでは、病害虫への対応に苦労。</li> </ul>
<p>農業をめざした動機</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農家子弟であり、幼少の頃から農作業を手伝うことがあったが、農業に対して良い印象は持っていなかった。</li> <li>・父親が取り組んでいる有機栽培には関心があり、運送会社に勤務していた時からいつかは農業をやりたいという気持ちは持ち続けていた。</li> <li>・普及センターの紹介で今の農地を借りる目処が立ち、就農に踏み切った。</li> </ul>	<p>後輩へ贈る言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地と生活資金の確保、栽培技術の習得といった最低限必要なものをしっかりと整えてから就農に踏み切るべき。</li> <li>・具体性のある実現可能な目標を持って取り組むこと。</li> </ul>